

7月30日（木） 16:10ごろ～

放課後、英語教室で2月29日（土）～3月11日（水）に行われたカナダ語学研修の報告会が開かれました。1年生を中心に60名ほどの生徒が集まり、カナダ語学研修に参加した生徒（現2年生）の発表を聞きました。発表の後の質問タイムでは、会場から研修の内容や、研修テーマであるSDGsのことなどについて次々と質問が出ましたが、発表した生徒はそれぞれの質問に的確に答えていました。

現状では先の見通しが難しいですが、コロナ禍が収まれば今年度も2月末～3月上旬にカナダ語学研修を実施する予定です。カナダ語学研修は基本的に希望者全員（1・2年生）が参加することができます。



報告会には1年生を中心に大勢の生徒が集まりました。カナダ語学研修に参加した12名の生徒が発表しました。



発表の様子です。訪問したブリティッシュコロンビア大学について北大と比較しながら報告しています。



4人1グループで、3グループの発表が行われました。英語で発表するグループもあり、この写真では、生徒がSDGsの研修としてフードバンクを訪れた時のことについて英語で説明しています。

7月28日（火） 6、7校時

第1学年理数科の探究活動で行われているバイオミメティクス（生物模倣技術）をテーマとした授業です。今日は、北海道大学大学院工学研究院の原田准教授に本校へお越しいただき、『魚ロボット』の開発について講義を受けました。



大ホールで『魚ロボット』開発の過程や動く仕組みについて講義を受けました。北大についても紹介していただきました。



水に浮かんだ『魚ロボット』です。本物の鯉などの魚のように優雅にひれを動かして泳いでいました。



中庭に出て生徒一人一人が『魚ロボット』の操縦を体験しました。なかなかできない貴重な体験です。

手元のコントローラーで『魚ロボット』を操縦しています。

ここに『魚ロボット』がいます。

7月22日（水） 7：50ごろ～

オーストラリアクイーンズランド州のマレーニー州立高校とインターネットでつないで『Cisco会議』が行われました。第2学年普通科のFuture Vision IIで「Sustainable Future Earth 持続可能な未来地球」のテーマを選択している生徒が朝早くから学校に来て、マレーニー州立高校の生徒と英語で交流しました。今年はコロナ禍でかいたませんが、例年は12月にマレーニー州立高校を訪問して交流しています。

※ Cisco会議：無料のビデオ会議やオンラインミーティングを行える無料Cisco Webexを使って行われるオーストラリアクイーンズランド州のマレーニー州立高校とのインターネット会議の本校での呼び名です。



酪農学園大学の吉中准教授のファシリテートで『Cisco会議』が始まりました。もちろん会話はすべて英語です。



画面の中のマレーニー州立高校の生徒たちです。8,000kmも離れているのにほとんど距離を感じません。



『Cisco会議』が終わり、生徒が全員画面に向かって手を振って挨拶しています。

『Cisco会議』はこれからもほぼ毎月1回のペースで「海洋プラスチック汚染と生物多様性の保全」をテーマに交流が行われます。

7月21日（火）

今日は、第1学年理数科の探究活動で行われていたバイオメティクスのアイデア（7月15日参照）の発表会、第2学年理数科のFuture Vision II（7月16日参照）、カナダ語学研修（7月20日参照）の事後研修会が行われ、盛りだくさんの一日でした。

Future Vision IIの「札幌圏のヒグマ問題を深掘りする」をテーマとする授業には7月16日にNHKの取材がありましたが、今日はHBCの取材がありました。



バイオメティクスのアイデアの発表会。自然からヒントを得て、発想力を高め合いました。



「札幌圏のヒグマ問題を深掘りする」ではヒグマの専門家である酪農学園大学の佐藤教授からレクチャーを受けました。



「札幌圏のヒグマ問題を深掘りする」にはHBCの取材が入りました。放送の日は未定だそうです。



カナダ語学研修の事後研修会では、添乗されたISAの明山様を講師に研修の成果を改めて確認する研修が行われました。

7月20日（月）

玄関ホールにカナダ語学研修に参加した生徒の研修報告ポスターが掲示されています。カナダ語学研修は2月27日（土）～3月10日（水）の11日間、カナダのバンクーバーで行われ、12名の生徒が参加しました。現地では、1人1家庭のホームステイ、語学研修の他、ブリティッシュコロンビア大学を訪問してのSDGs研修、カナダ先住民族理解ワークショップなどが行われました。



玄関ホールに掲示された研修報告のポスター。どれも力作ぞろいで研修をとおりて刺激を受けたことが伝わってきます。



職員室前の廊下には『留学関係資料』のコーナーが設けられていて、生徒は自由に資料を閲覧できます。



掲示されたポスターの一つです。レイアウトなども工夫されていてまるでプロが作ったような作品です。

7月16日（木） 5～7校時

第2学年のFuture Vision II（総合的な探究の時間）で行われた「札幌圏のヒグマ問題を深掘りする」をテーマとする授業にNHKの取材が入りました。授業の様子や教員・生徒へのインタビューが当日の夕方放送されました。

※ Future Vision II：Future Vision（フューチャー・ビジョン）は本校の普通科で行われている『総合的な探究の時間』の名称で、第2学年で行われるものには『II』が付きます。生徒が希望するテーマに分かれて探究活動を行い、2月の啓成学術祭で発表します。



ヒグマの基礎情報について学んだ後、実果類、堅果類について校舎近くの樹木を観察しながら研修しています。左側がNHKの撮影スタッフで、3時間にわたって取材が行われました。



授業の様子は当日、NHKの『ほっとニュース北海道』で取り上げられ、生徒へのインタビューなども放送されました。

7月15日（水） 6校時

3階の大ホールで1年8組（理数科）の探究活動の授業が行われました。

バイオミメティクスのテーマで、生物のもつ特徴を何かに応用できないかアイデアを考え、簡単なポスターを作っています。

※ バイオミメティクス：日本語で言えば「生物模倣」という意味で、太古から進化し続けてきた生物の体型、色、機能、行動など、さまざまな”歴史的産物”を模倣し、活用しようという技術です。本校のSSH第3期では、このような工学的な要素を取り入れた学習プログラムの開発をその目標の一つに掲げています。



トンボの眼の構造を応用するアイデアを考え、それを発表するためのポスターを作っています。



この授業では、スマートフォンを使って調べものをする事が許可されています。

7月10日（金） 7：40ごろ

登校の様子です。新型コロナウイルス感染防止のため、毎日、玄関で健康チェックと手指のアルコール消毒を行っています。



毎朝、教員が生徒一人一人の健康観察シートを見て、健康状態を確認しています。ちなみに更衣室で「密」になることを避けるため、体育の授業がある日にはジャージで登校しています。



玄関での手指消毒の様子です。手をかざすと自動でアルコール消毒液が噴霧されます。全員、手指を消毒してから教室に入ります。

7月9日（木） 7校時

1年8組（理数科）の探究活動の授業が行われました。

本校でのSTEAM教育の一環として、情報を活用する力を身に付けるため、GISを使った活動をしています。

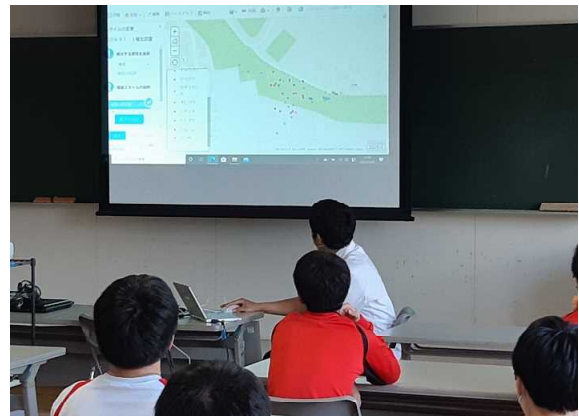
※ STEAM教育：S・T・E・A・Mは科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術（Art）、数学（Mathematics）を意味し、科学、技術、工学、芸術、数学といった様々な分野を総合的に学ぶ探究、プロジェクト学習のことです。

※ GIS：地理情報システム（Geographic Information System）の略称です。

位置や空間に関する様々な情報、画像などを地図と結び付けて、コンピュータ上に表示することで、地図情報と関連付けて分析、解析、社会課題の解決に活用できるシステムです。



スマホで樹木の種類、葉の写真、高さ、位置情報などのフィールド情報を取得し、組織サーバーへデータを送信します。



取得したフィールド情報から森林マップを作成し、解析しています。

7月8日（水） 4校時

2年8組（理数科）の探究活動の授業が行われていました。

これは、生徒が4名程度のグループに分かれ、それぞれが設定したテーマの研究を行っていくものです。



昆虫（コガネムシ）の行動について研究しているそうです。昆虫の採取計画などについて話し合っています。



担当の先生と実験方法等についてディスカッションしています。



砂山を作ったときの、砂山の下にかかる圧力を測る装置を作っているそうです。探究活動では測定装置も自分たちで工夫して作ることがあります。